

## 宝物がいっぱい！ 大好きみんなの「ヤッホーぼうけん山」

中山みどりの森保育園

中山みどりの森保育園は今年度も「自然の中で、心と体を育てよう」をテーマに保育に取り組んでいます。その中でも中心になるのが、園舎の東側にある『ヤッホーぼうけん山』です。

春には、たけのこ掘りをして、たけのこご飯を作ります。また、いい香りのするクロモジの木があり、枝を摘んでクロモジ茶を作ります。初夏には、今では珍しくなったササユリの花が咲き、子どもたちは「先生、花が咲いている。」と、春に見つけた蕾の変化を見逃しません。そして、秋には一面の冬イチゴの群生に「実がなったら食べられるね。」と楽しみにしています。

背丈ほどある草をかき分け、アオキのトンネルを抜けると開けた杉林に出ます。景色と空気が一転し、「ワッ！。」と言う歓声が響きわたる瞬間です。

春日神社に続く道の途中には、笹津豊後守敦忠公の供養碑があり、お参りをして通ります。また、地主の



▲年間を通じてさまざまな発見がある「ヤッホーぼうけん山」を散策する園児

方のご厚意で、しめ縄作りに使うウラジロを採らせていただいています。

『ヤッホーぼうけん山』は年間を通して、子どもたちの五感を刺激してくれるだけではなく、地域の大切な宝に触れることができる魅力いっぱいのフィールドです。ここで体験したことや、見たり聞いたりしたことは、子ども達にとって、かけがえない思い出になることでしょ。そんな保育をこれからも大切にしていきたいと思えます。

## 第13回入学式 大山カレッジ発進！

大山町オリジナルの大人の学校「大山カレッジ」。第13回となる入学式を6月18日（木）に行いました。

大山カレッジは新型コロナウイルスの關係で、2月末に休校を余儀なくされ、恒例の音楽発表会や修了式を行わないまま、活動を止めていました。

しかし、外出自粛の緩和等により再開の目処がいたので、このたび入学式の運びとなりました。

当日はこの日を待ちわびた13期生25人が、これまで通った中山中学校ではなく、より広い中山農村環境改



▲フィジカルディスタンスを取り行った入学式

善センターに集いました。

出席者は、マスクをつけ手指の消毒等をし、フィジカルディスタンスを十分取って、式典も簡略化したものとなりました。

入学式後は早速授業が行われ、元大山町教育長の山田晋さんから世界遺産と日本遺産の違いなどの話を興味深く聞きました。

再び、中山中学校で授業を受けることができる日を指折り数えながら、新しい方式で大山カレッジは今年も学び続けます。

▲入学式終了後は世界遺産講座